四万十高等学校　目指す生徒像と学校の取組方針

目指す生徒像

豊かな心と生涯を通した学びや社会生活の基盤となる知識・技能を持ち、地域に根差し、社会貢献への一歩踏み出そうとする生徒

学びの基盤

授業やHR活動、部活動等を通して学びの基盤となる知識・技能を身に付け、社会への一歩に向けた土台づくりができる生徒

在り方生き方

授業や特別活動、部活動等を通して得た体験や収集した情報を自分の将来に結び付け、自己と他者や社会を大切にできる生徒

自己教育力

今までの取組や目標の実現に向け、何が成果か課題かを自らに問いかけ、今取り組むべき課題を見つけ、計画を立て取り組む生徒

授　業　　部 活 動

特別活動　　地域連携

キャリア教育の視点に立った教育活動

（基礎的・汎用的能力の伸張、体験活動の活用）

平成２５年度　生徒に育成したい力

学びの基盤となる知識と学ぶすべ（基礎学力）	他者を理解し、自らを律する力	自己の能力、適性を踏まえ進路を決定する力
【基本となる学びの力】	【人としての力】	【進路を切り開く力】

平成２５年度　主な取組み内容と大切にしたい視点

～チーム全体で取り組む、学校教育活動の最適化、個への指導の最適化～

◎学びに対してあきらめさせない指導・支援（全体・個別）、学びの手立ての可視化

〇授業規律と主体性の確立（①授業の開始・終わりに起立・礼・着席の徹底、②自発的なノート作りや積極的な質問を引き出す工夫）

〇授業の開始時に本時の学習の目当てを、終了前に復習すべきポイント等を具体的に示す。＜学習する事項・目標の可視化＞

・週明けテストに対する生徒の主体的な取組を推進する手立てを講じる。

・基礎力診断テストの有効活用（定着へ向けた個別指導、課題分野の力量向上へ向けた授業の工夫、個別の指導方針）

◎時と場所や状況に応じた、言葉使いや態度、傾聴の姿勢を育てる足並みを揃えた指導

〇あいさつと身だしなみの指導（マナーとルールを理解させる・手本となる）の徹底

〇自己肯定感を高めるための手立てや環境づくりに取り組む。また、教育活動において生徒に語るべきことは何か、自らに問い、考える。

・他者への敬意や配慮が不足する言動や態度が見られるときは、「何故か」を問いかけるなど、生徒が自らを考える機会にする。

・学校行事や生徒会活動等で、生徒が主体的に考え・振り返る手立てや、リーダーとなれる機会を生徒と共に準備する。

◎自己の能力・適性、進路実現への理解を深める取組の推進

〇「学びのポートフォリオ」等のツール活用による自己目標、努力・取組の可視化

・体験活動への事前・事後指導の位置付けの明確化（主体的な計画作成と事後の振返り）

・模擬テストや検定等への積極的なチャレンジを引き出す授業や補習の工夫（模擬テストや検定でのデータ等の活用）

・自ら進路を狭めさせない基礎学力・人間関係力の育成場面での声がけ

・四万十総学や朝読に進路を意識させるテーマを設定（総学では仕事を知る活動等の工夫）

足並みを揃えた指導・支援で生徒集団の力を育て、個の自主性・主体性を引き出そう！